夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48
いわき民報社
編集部 電381
営業部 電1222

土木行政の不明朗で 強口氏を吊し上げ

喧騒化した平市臨時市會

昨報＝平市臨時市会は七日午後一時半から開き、劈頭副議長の選挙を行い真木桓市議が過半数で当選、次いで当局から提出議案の説明があり質疑応答の後、いずれも原案通り満場一致可決、一日休議の後再開、緊急質問の勧議に入つたが、この日傍聴席には平市労働組合協議会が給与所得者の完納者に十%の税を報償金として還元せよと陳情に幹部多数が見え、町田市議がこれを代弁して緊急質問したのを皮切りに、平市政革新会の配布したパンフレツトの水道問題は全然デタラメで市民を惑わすものだときめつけ当局や水道委員会の面子をたてるため弁明のパンフレツトを配布せよと強硬に主張する小野（栄）市議や、土木行政の不明朗を平市政革新会発会式の席上暴露した土木委員志賀傳吉市議に対し土木委員としてあるまじき行為で解任せよと吉田（常）市議が動議を出すなど議場は騒然となり、志賀市議がこれに対し再び土木行政の不明朗を難じ断乎として斗うと表明、結局この動議には賛成者なく不成立に終つたが、途中大嶺（庫）市議も出席、野沢市議らも鋭く強口土木委員長に迫り吊し上げるなど満員の傍聴席からも終始ヤジが飛び喧騒裡に午後五時十分閉会した、四月の地方選挙を控えて忙しい政治的な動きが展開されているだけにこの市会を突破口に早くも火花を散らした感じである

好間に支拂う 水道料問題再燃

開会劈頭金古議長から大嶺副議長の辞任届に対し「地方自治法百八條により議会閉会中は議長だけで辞任が許可出来る、正式に許可したから国会法に準じて後任選挙を行う」との説明あつたが

鈴木（寅）市議 任期間も五十日位なので前回副議長選挙に一票の差で破れた真木君を満場一致で推選したい

との発言あつたが、これに対し

野澤市議 鈴木さんの意見も結構だと思うが選挙で行つた方が良いと思う

との反対意見のため、結局選挙となり

真木十六票、多田井七票、無効二票、白票一票（水竹、大嶺欠席、鈴木死亡、金古議長投票）で真木氏が拍手をもつて当選と決まつた

次いで提出議案につき伊藤助役から一括説明あり、財産処分の件を残し他はいずれも赤井村合併に伴う議案で質疑に入つたが、先ず

野澤市議 ❶合併で市の職員が多くなり人件費も嵩むと思うが、将来行政整理など計画しているのか❷福音協会に無償給付する敷地（一万一千五百六十七坪）は契約により設備完成後となつているとの説明だがそれからでも遅くなく契約延長しても良いと思う、これに関連することだが盲ろう学校は、校舎狭隘で新校舎を建設する計画だが平市が敷地を提供することになつているときく、この場合も福音協会に対する協力的な考えと同じ意志があるかどうかたずねたい

伊藤助役 ❶合併時に職員は身分保証すると決めていたが、近い将来五分以上の人員整理は行いたいと考えている、時期は未だ言えない❷平市は国、県等の補助を確保させる上からも全面的に協力しているが、設備は九割程度と殆んど完成している盲ろう学校の件は県始め相双二郡、石城町村長会、四市などが中心で平市に交渉あつたが、この敷地は三千坪を必要としており、郊外地帯は地価が高価なので無償提供は困難だが、地価の安い交通便の良いところを見出し充分協力したいと思つている

これに関連して坂本、強口議員などから質問あつたが（真木副議長が金古議長と交替）提出議案の一括採決に入り、いずれも原案通り満場一致可決、一日休議、午後二時五十分再開

野澤市議 福音協会へ提供する敷地には百万円からの立木が、あるときくが敷地を無償提供とすれば地上物件は拘束出来ぬと思う、これに対し当局はどう措置する積りか

伊藤助役からこれに対し防風林程度でそれほど高額の立木はないと思うが、なお調査の上あれば道路改修費に廻したいといつた説明があり、議員間にも「そんな立木はない」という声があつて野沢市議も了承、次ぎに緊急動議質問者の順序から登壇して発言、先ず

小野（栄）市議 四、五日前市内に平市政革新会のパンフレツトが配布された、この中萩原襲雄氏談の中に好間上水道問題で市は三十数万円を支払つたと書いてあるが吾々水道委員が就任当時、この問題を徹底的に調べ好間村当局者とも良く話合つたところ四個三分の契約はなく二個七分（六分の違い）だつた、それでも好間の好意で四個三分一杯の水を使用していた、これが当時革新会の騒ぎで好間村当局も黙過出来ず、昭和八年まで遡つて追徴金四十数万円を請求数十回の交渉で三十五万円にまけてもらつた、以上の事情でこのパンフレツトは市民を惑わすもので、市当局や吾々水道委員の面子にかけても弁明のパンフレツトか何等かの方法で責任を明かにして欲しい

ときめつけた、伊藤助役これに対し同じような事情を説明、四個七分の契約はしていないから広報（市政だより）を利用して弁明させると答弁、鈴木（寅）強口市議から〃市民大会で訴えろ〃と強硬意見も出され、諸橋、町田の水道委員からもこれに対し弁明あつたが金古議長この険悪の空気をみて討議を打切り、次いで

町田市議 労働者がいわゆる給与所得者が生活苦にもかかわらず完納している現情から是非二十九年度から十%の税を報償金に還元して欲しい

と緊急動議を出し、佐藤、志賀市議からも賛成の意見が出され、伊藤助役から「百分の一%は交付中だがそれ以上は研究中なので直ちに実施出来ず、考慮する」旨の答弁あり、金古議長から平市労働組合協議会議長松崎文吉君の代表名で請願書として出されているが請願法により市議二名以上の提案者があつても代表者以外の署名捺印がないので陳情書として取扱つたこの問題は二十九年度から早刻実施は困難で今後、議会に与えられた権限で最善の努力をするという意見が述べられ、二、三その具体案を出して了承を求めた

業者の指名撤回 で強口氏を弾劾

吉田（常）市議 が土木委員専任変更の緊急動議を提出「去る二日夜、公会堂日本間で行われた平市政革新会の席上、志賀市議が土木行政の暗い面をあげて演説、不審に思つて質問したところ、上荒川の市営住宅埋立工事を突然地元請負から中止させ磐城土建がとつたと説明、質問しようとしたが打切られた、同じ土木委員としてかゝる暴言行為は芳しからず、土木委員から解任して欲しい」旨動議を出した、これに次いで

強口市議 上荒川の工事請負内容を細かに説明「私の名義で地元請負に決めたが、代表が五万円借りにきた、これはスコツプを買うためだというが、三十万円位の仕事で五万円からの道具をかつたらモウけがあるか、そのほか道路改修負担金に市で出す四万円ももらいにきている、この近くに橋を作るのに地元負担で十万円を出さねばならぬのに危くてやれやしない、こんなワケでレール代を含むと三十万円となるので自分が請負つたのだどこが専断だ

と弁明、待つてましたとばかり

志賀市議 土木委員の志賀傳でなく市民の志賀傳であることを良く知つて欲しい、革新会では傍聴していたところ発言を求められ、事実不明朗な点を衝いたまでだ、私は何時も不正の場合は土木委員会を退場してきてまで反対してきた

と再び東部産業の入札拒否を始め二、三例をあげ土木委員長の専断を難じた、途中大嶺市議が出席「前に東部産業の指名を独断で撤回させたことは間違いか」と強口市議と一問一答の場を演じさすがの強口市議もこれを認め、次いで

大嶺市議 土木委員長がどういう理由であろうと土木委員会の手を経ず、入札を拒否した事実、執行権に立入つた、こういうことが平市政を暗くするのだ

ときめつけ

野澤市議 明らかに越権行為である、それを認めている強口土木委員長は責任をとるべきじやないか

と鋭くきめつけられ、強口市議からこれに対し東部産業は請負金が安いかわり、欠損を重ねて追徴金をもらつているから、実害を蒙る前に入札からはずしたまでだと弁明、苦況に追込まれて路線橋問題に言及するなど終始喧騒を極めたが、満員の傍聴席から活ばつなヤジが乱れ飛び、金古議長も退場を命ずるなど空前にない盛況振りをみせた

市會記者席

▼−後任副議長の選挙をめぐつて与、野党は開会前、推選者を決めるのにコソコソ、ヒソヒソ遂に今度出馬を断念した市議二期真木桓氏が当選、最後のハナを飾つたが「アト五十日位だからわずかだヨ」とさびしい嬉しさだつた、金古議長途中で気をきかしたのか、始めて議長席についたが、なれぬとあつてヒヤ汗たらたら

▼−真木さんの話では「出馬断念したゝめ、私の地盤を頂こうと日参する議員さまが多い」と氏名をあげて説明したが、この議員は勿論投票した組らしい

▼−大嶺前副議長は私用で仙台出張の為欠席したが途中で出席、強敵強口議員もたじろぐほどの斗争振りをみせた、まさに喧騒を極めんとするところで金古議長の閉会宣言で閉幕となつたが、それからも強口議員と大嶺議員「ナアー今後はお互に堂々とやろう、君（強口を指す）も会場に出席して説明しろよ」とうつて変つた大嶺議員の態度に強口議員もカツトなつたのか、大嶺議員の胸ぐらを一寸掴した「何にするんだ」と大嶺議員もすごんだので「いや君が先に触つたからだヨ」と強口議員さすがにタジタジだつた

▼−土木委員除名の動議を出された志賀議員「いゝ加減に撤回しなさい、ヤブ蛇になるから−」これをきいた町田議員「そんなこと言うのは議員をぶじよくしていることだ」とケチをつけた、怒つた志賀議員「町田さん−よく聴きなさい、土木委員の内情を知らずにいわれたようだから」と事例をあげ志賀傳吉男でござると大見栄をきつて町田議員に応酬、八方美人型の町田議員も男をあげたつもりだつたが「町田ボス」と傍聴席から声がかゝつてダアー

五十六名に

磐城市議立候補

磐城市選管委に七日まで市議立候補を届出たものは五十六名（小名浜二十四名、玉川五名、鹿島三名、江名十一名、泉九名、渡辺四名）に達した、既報後の立候補次の通り

【鹿島】▼志賀久馬（四七）農業、無所属＝下蔵持字戸ノ内二七
【江名】▼坂部正男（三八）漁業、無＝永崎字馬落前二七
【泉】▼阿部秀良（四〇）会社員、無＝本谷字仲ノ内三八

二十八名が 不在投票

磐城市議選の不在投票は八日正午現在二十八名に達し、出漁に出かける船員、旅行や出産予定日などの理由によるものが大半だつた

磐城市議選 うらおもて

▼…元小名浜町議長菅原勲候補の立候補届は六日になつてやつと四十七番目で届出たが業を煮した支持者たちから早く名乗りをあげろと矢の督促、これに対し菅原氏の選挙事務所では「受付番号は四十七番で四十七士の討入りと同じく目的を遂する」と大変エンギがよいと宣伝、また「小名浜（第一区）では丁度二十四番目の受付けだがこれは「死に」（四二）の反対だから〃いきる〃ことになつた」とこれまた落選はしないというので幸先良いと大ハリキリ

▼…第一選挙区（小名浜）某候補のところではポスター貼り労務者にまで運動員腕章をつけさせているがモツタイない話、市選管委のはなしによれば選挙事務所などの指示によつてポスター掲示に働く労務者には腕章はいらないとの由、制限された腕章十五を大いに別な面で活躍させてはいかが

▼…第一選挙区高木嘉一郎候補、六日市選管委を自ら訪れ〃とらぬタヌキの皮算用〃と出た、去る二十六年行つた小名浜町議選当時の書類を引つぱり出して先ず票の計算、百票前後でゆうゆう当選した町議選当時は昔の夢「こんどは五百票はとらねばむずかしいべ」と高木候補一人言をいいつゝ事務所を去つていつた胸中の皮算用幾票と出たかは聞くのをウツカリー

▼…法規の解釈の関係で今まで小名浜海上保安部所属巡視船あさちどり（三百トン）うづら（九〇トン）の乗組員四十四名が国会議員以外の選挙権はなかつたところ今度の市議選から地方選挙権を獲得した、小名浜港が定繋地であるので地方選挙権が与えられたわけだが税金をとられて選挙権がなかつたという不平はこれでチヨンとなつたわけ

PTA研究會

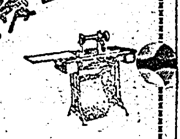
十一日午前十時から植田小学校で同校PTA運営研究会を開く

天気予報

八日

【今晩】北または北東の風曇勝ち一時晴

【明日】北東の風始め晴るところもあるが曇勝ちとなり遅くなつて小雨の降るところがある

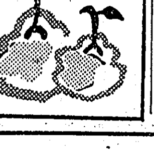
三菱ミシン

平市南町電九六〇
草野ミシン商會

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
小学校在学中ならこのランドセルだけで大丈夫保つという程、それほど自慢のある品質です。お子さんの身も心もこのように強くなることを祈念して、藤越がおすすめするものばかりです。
ランドセル四〇〇〇−二五〇〇円
学生手提鞄二〇〇〇−一〇〇〇円
学帽一六〇〇−六〇〇円
小名浜
平市
藤越

保證食品
リス印
登録商標
酢ノ素
発売元
眞心の店
大沼商店
千葉 東京
三倍 30円
五倍 40円
十倍 55円
御家庭圓満

植田局新設電話開通
四六七番 パチンコ 日の出
四三二番 雑貨店 鷺 國雄
四三八番 薪炭業 緑川 不二男
四三九番 緑川カメラ店
四四四番 雑誌店 畑中 美代子
四三三番 薪炭業 緑川 光雄
四六九番 ラジオ店 小磯 純省
四四七番 松田染洗工所
四〇五番 山際（貨物食糧）店
五〇三番 いわき民報社 植田支局

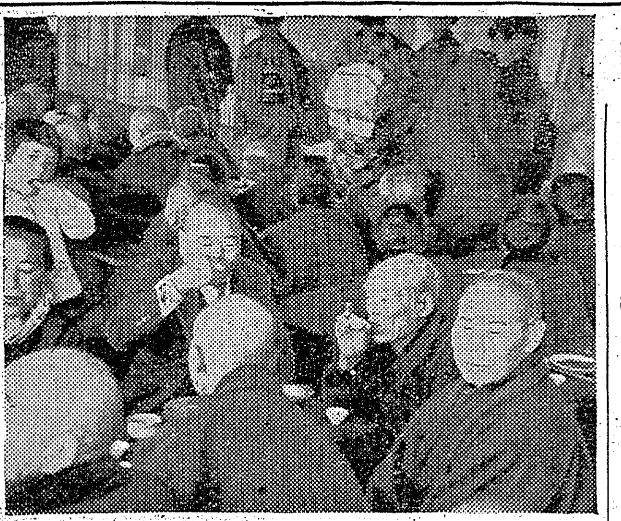
經理・税務・會計監査
お気軽に御相談下さい 懇切に指導研究致します
公認會計士 高橋 義
平駅前三延ビル三階電一〇一七

福島県観光連盟推薦
銘菓 たいら柚餅子
さくら羊羹

東京堂
平市才槌小路電一一〇八

長期欠席 千三百名

前年の倍 炭鑛の不況が原因

県教委石城出張所の調査による郡内四十一中学校、六十七小学校の長期欠席児童生徒数は千三百名に及び二十八年度末の二倍に増加した、中学生が八割をしめる長欠児童（一カ月以上欠席）の欠席原因は生活貧困のための家事手傳いが千名を上廻り地区別では内郷、山田、勿来など炭鉱地区で子供達の義務教育にまで炭鉱不況が侵蝕していることが判る、その他は怠けて学校を休むもので実際に病気で長期欠席している児童は一割にも充たないという恐るべき実情だつた



婦人會員らが演藝

大野村で敬老會開く

大野村公民館同婦人会主催の敬老会は昨七日午前十時から同村公民館二階広間において行われ、記念品に湯呑茶碗、山梨の杖一本が贈られた、大野村敬老会は何時も旧正月が定例になつていたが今年は村内行事が多かつたゝめにうらゝかな春の日を選び一八九名の長寿者参集のもとに村内婦人会員（六〇名）による手製料理と酒二合に舌ずつみを打ちながら婦人会員らの手踊り、寸劇を観賞し和やかな風景だつた、この席上最高令の木村ノブさん（九三）談

「私は小さい時から丈夫で現在も針仕事位はします、今の時代は私らにとつては見るも聞くも皆新しいことばかり、こうしてお招きの席で皆さんと語り合う事が出来長生きをして本当に嬉しい」（写真は大野村敬老会風景）

山梨の杖七十本贈る

大野村の北村さん感謝さる

大野村下柳生字右近田農業北村金栄さん（五二）は昨七日老人の方達に差上げて下さいと山梨の杖七十本を公民館に寄贈した、北村さんは以前から山に行くたびに手ごろな山梨の木を見つけては伐り取つて自宅に持ち帰り、これを火に当て杖を造り貯えておいたもの

長谷川助役談「山梨の木はこの辺にもそうざらにある木ではない相当前から心がけていたものと思う、本当に感謝に堪えない」

議員の定數などを協議

會議所常議員會

平商工会議所常議員会は七日午後一時から会議室に開き、推選議員の推選（九名）と部会選出議員の定数を決めたほか商工会館の建設につき打合せた

【推選議員】常磐炭鉱所長 林田満、呉羽化学錦工場長 山県孝雄、古河好間炭鉱所長 伊藤文健、磐城セメント四倉工場 太田竹之助、常磐交通社長 野崎満蔵、常磐炭鉱県販売KK社長 阿部政右衛門、東部石炭協会 清宮一郎、片倉製糸工場長 山田勇、諸橋合名会社 諸橋久太郎

【部会選出議員定数】商業五名建設業三名、工業二名、運輸交通業一名、金融証券業一名、旅館飲食業二名、鉱業一名、農業一名

十日に發足

四倉町で開廳式

四倉、大野、大浦、一町二カ村合併四倉町は十日発足するが、開庁式は午前九時から四倉町役場に於いて挙行、職員辞令交附ののち四小校講堂に町村議員、区長、各種団体会長ら多数参席のもとに盛大に行われる、四倉町は人口二万五百五八（内男一万四十八、女一万四百五十三）面積六千三百八十八立方米、なお四月の新町長選挙後に盛沢山の行事で合併祝賀式を挙行の予定

船員休養所

設立にきまる

磐城市では初の磐城船員休養所設立準備促進委員会を七日午前十時より同市役所大会議室に立花市長中田助役、中之作漁協組副組合長吉田喜好、小名浜漁協組合長三代義勝、東北海運局小名浜支局長香野粲氏らはじめ関係者約二十名が参集して開催した、先ず吉田副組合長から中之作地内に船員休養所の設立方要望の挨拶があつて協議に移つた結果、工事費六百万円（厚生省三百万円、県百五十万円、市百万円、受益者五十万円）で設立すべく関係方面に強く働きかけることゝなつた、なお設立敷地は中之作港北側埋立地をあてるが無償提供する、役員を次の通り選任した▼委員長立花市長▼副委員長吉田義（中之作漁協組合長）三代義勝（小名浜漁協組合長）▼常任委員、香野粲（東北海運局小名浜支局長）吉田喜好（中之作漁協組副組合長）比佐政種、久保木重雄、中田平次、矢崎そう治（小名浜海陸運送KK社長）国広義雄（日海運小名浜分室）黒川喜一郎（江名町漁協組合長）▼委員、宮城亮巳（小名浜海上保安部長）ら十四名

東宝映画

明日の幸福

三組の御夫婦をご招待

来る三月十五日から八日間平市平館で上映される東宝映画「明日の幸福」は一軒の家に三組の御夫婦が住み、嫁、母、姑と三つの時代を代表する三人の女性が幸せを求めて新しい明日の幸福をつかむという家庭物語の名作でございます。本社では平館と共催で一軒に三組お住いになる御夫婦を左記により御招待いたすことになりました

小堀誠　水谷八重子　上原謙　木暮実千代　小泉博　久我美子

▼招待ご希望の方は一軒に三組のご夫婦がお住いになることを証明するため飯米通帳などを本社へお示し下さい
▼ご招待日は三月十五日から二十二日までの間で都合のよい日時をお選び下さい
▼本社から係員付添いの上平館で映画を御鑑賞願います

學校の簡易水道を檢査

平保健所では春の傳染病期を前に十四日から二十八日まで管内四十一中学校、六十七小学校の簡易水道井戸水の水質検査を実施する

亂暴勞務者を就勞停止

平職安所は常磐市龍カ沢四〇畔田亥之吉（三〇）を七日附で就労停止処分に附した、畔田は去る三日午前八時半ごろ常磐市浅貝失対現場で賃金の歩増しをしなかつたことを理由に監督高橋義雄さんを殴つたもの

湯本一中視察

塩釜市教育委員佐藤貞寿、鈴木清蔵、菊池峻三氏らは七日常磐市湯本第一中学校の施設状況などを視察した

國際調理士支部發會式

國際調理士技術者協会平支部発会式は八日午後三時から平市三田小路一の井で開き、規約審議、役員選出などを行うなお東京の本部から会長荒田勇作氏、幹事長河野浩氏が来平する

三ツ子に贈る

去る三月常磐市診療所内で三ツ子を生み町の話題をさらつた星テル子さんは、その後も経過が良く母子共に健在であるが、七日同市教育委員会勤務三嶌恒哉氏（三五）は赤ちやんに着せて下さいと衣類など五点を贈つた

ズリ山を仰ぐ子供達

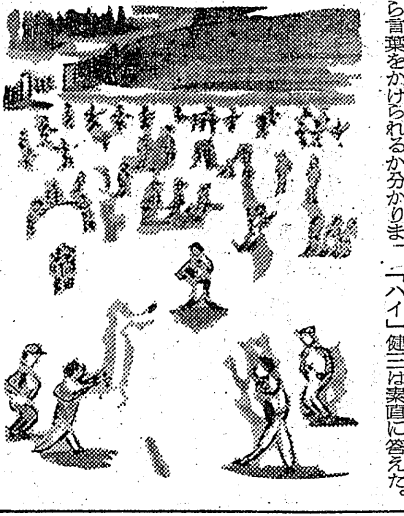
泉川秀雄

【101】

健三は心臓がドキツとしたのを感じた。昨日の客人を思い出したからである。〃男ともう一人は女の人〃〃今の先生の話が真実で嘘いつわりがないものだとすれば〃いや違う、違う、連れの人はいくらでもいる〃健三は心の中で自問自答した。

「そこでね。これは非常に大事なことだと思いますのでみなさんにも充分気をつけて頂かなくてはならないと思います。こういう常習犯になるととても優しい言葉をかけたり、なにかおいしいものを呉れたりするものです。」こゝ迄いつてこの部落に過去何回かあつたこの種の事件の事例を説明して下さつた。

「そこでどんな時に知らない人から言葉をかけられるか分かりません。こんな時には一応その知らない人を疑がうべきですね。社会にはよい人もたくさんいますが中には悪い人も居ります。」とう結んだ。一瞬しーんと静まり返つた。



放課後野球の練習をした。明日の校内野球に備えてである。校庭が広いので精一杯練習が出来た。然し練習の最中でも今朝の人身売買の話が頭にこびりついてどうすることも出来なかつた。

練習中打棒が殆んど振わず明日の大会は危ぶまれている。出来るだけやるだけだと強がりを自分自身にいゝ聞かせるだけの頼りない健三だつた。体育部長という名前もなんだかニセの看板にしか見えなかつた。然し、健三はこんなことより今朝の話から客人達が常習犯ではないかと考える様になつていたのである。

そう思えば思う程、昨日の客人の甘い優しい女の様な言葉や態度を疑わざるは得なくなつた。そして有楽町というのは真赤な嘘かも知れないと考えるに至つた。だが一方ではこの考えを打消し東京行きの魅力は募るばかりだつた。

野球の練習が終ると健三が飛ぶ様にして教室に入つて行つた。教室にカバンを置き忘れて来たからである。静かな教室には影山先生が事務をとつていた。健三が入つて来るのを見ると先生は持つていたペンを置いて静かに

「もう終つたの」とポツンといつた。

「ハイ」健三は素直に答えた。

「どうチームワークとれてる」

「ハイ」健三は本当の様な嘘をいつた。

「明日しつかりやつてね」

「ハイ」

「ところで健三君一寸元気がないじやないの。」先生は健三がいつもより元気のないのを感じていた。

「…」

「どうしたの。頭でも痛いの」

「いや違うんです。」健三ははつきりこう答えた。

「すると、なにかほかにわけでも…」千歳は更に静かに訊ねた。

「…」

「なにかいえないわけでも…

千歳は健三が余りに硬ばつた表情をしているので優しく訊ねた。「

御卒業 御進学 御入学の記念に！

コメット高級萬年筆
ライトインキ
一般學用文房具類
▽特価サービス
チケット御利用下さい
双葉文具店
植田駅前通電話二〇五番

御入學新學期の帽子とカバン
▽売つてからも永く修理のお世話を致します
帽子カバンの専門店
おかざき屋
植田町本町電話五〇九番
▼チケット大歓迎

パイロット萬年筆
学生用250円より各種
正確な精工舎製腕時計
2500円より
目覚時計850円より
御入学祝は在庫豊富の当店へ
菊地時計店
植田町電話333番

▽特価提供
革カバン、ランドセル
手提カバン、コクヨ製品
パイロット
ウエル｝萬年筆
文房具の店
東京堂
植田駅前通電話341

セーラー服
學童服
ランドセル
學帽類
豊富に取揃えました
特価サービス
大和屋衣料店
植田駅前通電話三二六

小中高用學生服
セーラー服、手提カバ
ンランドセル（特価提供）
チケット御利用下さい
衣料店
オノヤ
植田町本町電22・479

新學期用品特賣中
學生服、セーラー服、手提
學帽、運動クツ
松屋呉服店
植田町駅前電三〇九
編物さくら織研究所新設
只今生徒募集中

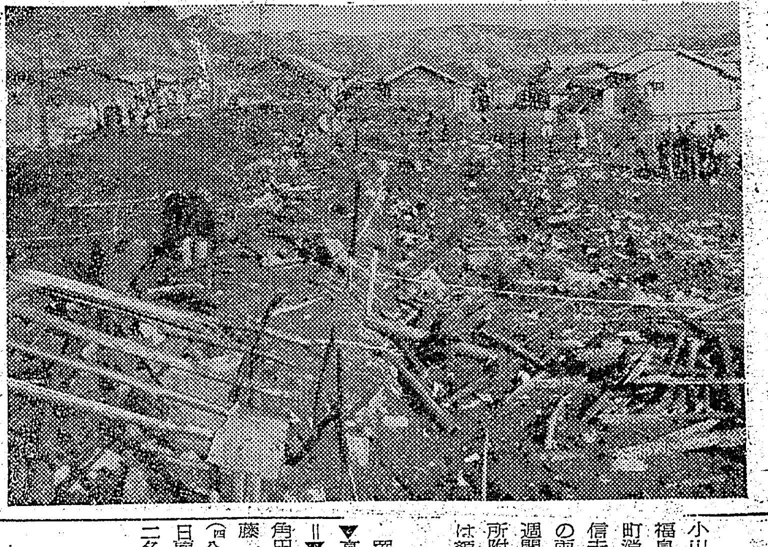
必ずお氣に召す
ランドセルとセーラー
服 學生服、草履袋
特価サービス
安田屋呉服店
植田町本町通電一四
チケット御利用下さい

御卒業進學の記念に
正確て信用ある時計を！
精工舎（特約）パイロット
万年筆（特約）チケット歓迎
福島時計店
（植田町本町電二六四）

景品付入學用品
大賣出し
（三月三十一日まで）
ランドセル　四二〇円より
ビニール製ランドセル（同）
最上双豚ランドセル　五六〇円より
牛革ランドセル　九五〇円より
草履袋　五〇円より
金ボタン学生服　四六〇円より
セーラー服KO服大勉強　手提カバン
たからや呉服店
植田町八幡通電六番

縣で七十萬圓贈る
小川の大火に各方面から同情

七日午前十時過ぎ一瞬にして恢じんにきした小川町大字高荻字入の山もと日曹福島炭鉱住宅十九世帯八十七名が罹災する大火は何れも困窮者で着の身着のまゝで寒空に焼き出されただけに、各方面から同情がよせられ県消防災害課から七十万円（一戸当り三万五千円（小川町から毛布百枚、現金一戸当り三千円、一週間分の食糧、石城福祉事務所から米三俵、衣類二百点など救急物資が時を逸せず同日中に見舞われた、なお同罹災者には近隣市町村から見舞われる予定


（写真は無惨な焼跡）

三名が火傷

小川町大字高荻字山の入もと日曹福島炭住大火の消火に当つた小川町消防団赤井第三分団第四班渡辺信夫さん(三〇)と永井徳次さん(三四)の両氏は左手掌、右ひざに全治一週間の火傷を負つた、また出火場所附近にいた角田はつのさん(六四)は顔に全治二週間の火傷を負つた

罹災者氏名

罹災者次の通り

▼高橋寅吉(六六)採炭夫＝家族四名＝▼高橋光男(三六)日雇＝三名＝▼角田文子(四三)日雇＝四名＝▼小堀藤一(六四)日雇＝六名＝▼平沼タマ(四八)無職＝二名＝▼高橋ツネ(三四)日雇＝六名＝▼吉田満(三四)日雇＝二名＝▼有吉勇治(六三)日雇＝六名＝▼佐藤[illegible]三)日雇＝四名＝▼真野幹吉(六八)日雇＝五名＝▼佐藤島喜(三四)無職＝五名＝▼安藤辰巳(四八)採炭夫＝七名＝▼遠藤八郎(三九)日雇＝四名＝▼松崎秀治(三三)鉄道員＝二名＝▼水合藤太郎(三八)無職＝六名＝▼小池右一郎(五四)採炭夫＝四名＝▼武田吉蔵(五八)採炭夫＝七名＝▼菅野文蔵(六四)＝四名＝▼橋本源一(三九)工員＝五名＝

コンロの火が引火
大火原因判る

平署では七日午前十時ごろ出火した小川町大字高荻字山の入もと日曹福島炭鉱社宅、同公民館など四棟を全焼した火災原因を調査した結果、同町山の入八五日雇角田文子さんの母はつの(六四)を八日出火容疑で書類送検した、当日はつのは文子さんが日雇に出かけたあと玄関土間で石油罐で造つたコンロに薪をくべて火をおこし、井戸水を汲みに留守にした五分の間にコンロの火が障子に引火、紙葺の屋根と乾燥した家屋は折からの北西の強風にあおられ大火となつたもので、角田宅は焼失した三棟の最西南端棟の中央部、公民館裏に当つていた

湯本一中講演會

常磐市湯本第一中学校（校長水野武氏）では今春卒業する就職希望生徒九十三名について実社会の認識を深めるため九日午前十時から正午までの二時間社会科の一環授業としていわき民報社常磐支局長河瀬安広氏を講師として招き「社会人としての心がまえ」と題して講演会をひらく

騒擾罪は不可
上村辯護人詰め寄る
公判二日目

平事件容共派百二名の最終弁論公判第二日目八日は午前十時十分大竹裁判長係、高橋検事、上村、竹沢両弁護人立合、被告三十六名（内女六名）出廷のもと地裁平支部法廷で開かれ、上村弁護人の各論に続き午前中は被告の個人陳述があり明九日大塚、岡林弁護人の総論で終り判決をまつだけとなつた

上村弁護人各論要旨＝平事件公判の六年間をふり返つて見て騒擾罪という名を本件に使用してはいけない事を知る、本件は全く警察側のデツチ上げ弾圧である、犯罪事実について見て❶一般人は新聞を見て初めて知つたもので市民が不安を感じた事はない❷当時の平署（国警）がタツチしない騒擾罪などあり得ない❸平市署内でさわいだ事実は無い、当時公安委員も来たが話し合いで帰つておりこんな騒擾罪はない❹ガラスを破つた問題についてもこれで騒擾罪を適用するのは騒擾罪の[illegible]をゆがめるものである❺旗の問題についても群集が勢いにかられてやつたものだ、本件は全く共産党を弾圧するためデツチ上げられたもので騒擾罪適用の要素は何一つ無い、これ迄にしたのは計画的なことであつた、この計画の一部の掲示板撤去問題に警察側がちよう発し、このちよう発のきつかけにより共産党を弾圧しようとたくらんだものだ、裁判所は正義の立場で無罪にする事が本当である

遺族補償の訴訟棄却

遺族補償費六十七万円にからみ平労基署長を相手どり仙台高裁に訴訟した平市大字赤井織田つな子さん(三七)の行政訴訟が八日棄却と決定した、ことのおこりは昭和二十七年三月六日夫であつた平市大字赤井共栄木材KK赤井工場長織田才松氏(四五)はトヨペツト運転中交通事故で死亡したが平労基署では業務外死亡と認定した、これに対し妻つな子さんは「業務上の死亡である」と遺族補償費六十七万四千四百八十円を請求、平の労災審査委員会、福島労災審査委員会、仙台労災審査委員会に次々に審査を請求したがいずれも業務外と認定されたため、ついに仙台高裁に控訴したもので、行政訴訟以来二年目に棄却されたわけ

依然解決せず
菊多市廳舍の敷地

菊多方部三町二カ村の第六回合併研究会は七日午前十時から錦町公民館で開かれ前回同様小委員会で練り更に各町村長を交えた懇談会を開き午後九時まで長時間協議したが、植田の主張する市役所所在地は錦町大倉地内（現役場地内裏手の空地を含む）及び大倉地内（御宝殿以北）より以南地帯には一歩も譲らぬ強硬な態度を示し、これに対し勿来側は前回同様錦地内錦橋付近（六号国道勿来寄り）の田圃地帯を主張、又錦側は錦中学校付近の六号国道筋（煙草販売所筋向い）を唯一の候補地として希望、結局此の日は結論を見るに至らなかつたが、両者とも（勿来、植田）含みがあると見た井沢地方事務所長は妥結に至らなかつたことは甚だ遺憾であると複雑な事情を述べた上、来る十日植田、勿来両委員に面接し相互歩み寄る斡旋の労を採る事にし散会した

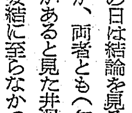
（写真は各町村代表委員達の市役所候補敷地の視察）

少年十五萬圓分を盗む

常磐署では七日午後六時ごろ常磐市大字湯本字吹谷無職少年A(一八)を窃盗容疑で逮捕した、同少年は去る二月二十三日午後十一時ごろ同市大字湯本字三函二八一衣料商高木誠二さん(五七)方店舗に家人が就寝中雨戸を外して店舗内に侵入し陳列してあつた男物サージズボン外四十五点時価十五万四百円相当を盗んだもの

作業中惨死
炭車に挟まり

七日午後九時半ごろ内郷市宮町鬼カ沢日東炭鉱宮鉱業所係員助手須田盛信さん(四六)＝同市宮町鬼カ沢一〇〇＝は抗内で発場中に脱線した炭車を復旧後、炭車と木枠に右胸部をはさまれ、共立病院に収容途中午後十時半死亡した



▼…去る一日常磐市内で行だおれになつた盛岡市生れ住所不定無職高荻政治さん(四三)現在同市市営診療所に収容され手当をうけているがこれには深いワケがある

▼…二年前別れた妻子の面影を忘れがたくはるばると探し求めてやつて来たもの

▼…弥生の風は身にしみてあるきつかれて常磐市三函地内の野天風呂で旅のアカでも落そうとしやれこんで入つた途端に脳貧血

▼…人事不省で卒倒し助けられたが三日三晩飯も食わずにいた為か診療所にかつぎ込まれて夢うつつ

▼…この男茨城県高荻の某食堂で働いていたが身持が悪く去る二月末クビになり途方にくれた挙句自分の妻子が盛岡市にいる事を知つてやつて来たが所持金はすでになく野宿無食の連続でついに倒れてしまつた

▼…聞く人、涙をさそう悲劇「妻子を尋ねて」の一幕

ボン中毒者
アド自殺

七日午前八時十五分ごろ鳥打ちに出掛けた内郷市高坂町会社員熊上政勝さん(三二)は常磐市上浅貝一一〇地内の山道に仰向けになつた男の死体を発見、十時半ごろ内郷署に届け出た、同署で調査の結果内郷市綴町東区社宅もと舟乗り柴田昌夫さん(三五)のアドルム自殺だつたことが判つた、柴田さんは極度のヒロポン中毒から精神異状を来していたといわれ六日午前十時半ごろアドルム五十錠を持つて家出したもの

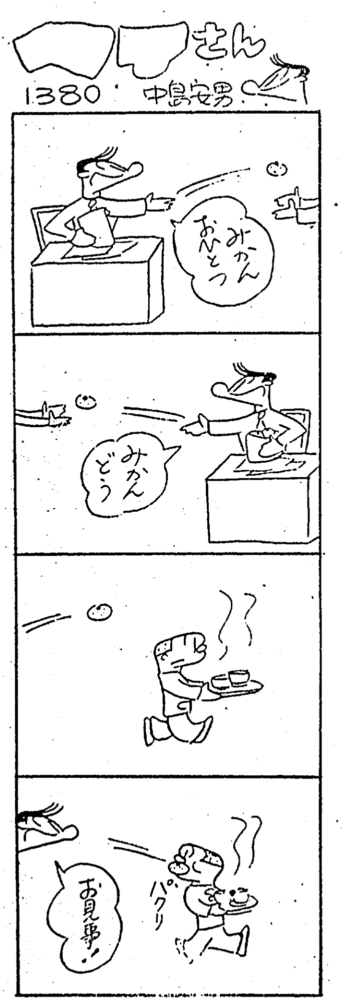
猛火の中老婆を救助
照井、西塚さんを近く表彰

大火の猛火の中を屈せず中風で瀕死寸前の老婆を助けた小川町大字高荻字山の入八五無職照井豊さん(三七)平市不動堂日曹赤井炭鉱選炭婦西塚ハナさん(三七)の両名は人命救助で近く平署から表彰されることになつた、七日午前十時十五分ごろ火事現場に駆けつけた右の二人は小堀藤一さん方で長女洋子さん(一九)の「助けてくれ」という声とともにウナリ声を聞き、天井まで焔のはい下つた中をくぐりぬけて小堀ハマさん(六四)を救い出し、照井さんは小堀さんを背負つて安全地帯まで運び出したもので、身を猛火の中に捨て老婆を救い出した照井、西塚さんの美挙が賞讃されている（写真は老婆の命を助けた照井さんと西塚さん）

妻子捨て家出の夫增加
内郷で七件、措置に大弱り

炭鉱の不況と就職難から大黒柱であるべき夫が、妻子を捨てゝ逃げたという家出人捜索願いの増加に、内郷署や内郷福祉事務所では処置に困つている

最近の事例では内郷市宮町金坂七平子フサ子さん(三三)の捜索願いによれば、夫正市さん(三七)は日東炭鉱就業に結婚し、昨年五月長女ヒサエちやん(一ツ)をもうけたが、昨年八月日東炭鉱廃山離職により正市さんは日雇人夫として働いていたが、十二月五日午前十一時ごろ現金一千円を持つて家を飛び出した、その後友人の話で正市さんが静岡県磐田郡の発電所ダム工事に働いていることを聞き、フサ子さんは帰郷を楽しみに待つていたがこのほど正市さんが福井県の方に行つたことを聞き、堪りかねて捜査願いを出すとゝもに生活扶助適用の申請をしたもので、同所では本年一月から同ケースの家出が七件もあり、いずれも生活扶助申請をしているが夫の生死と離婚が確定しなければ生活扶助の適用をすることが出来ず困つている


さん
1380
中島安男
みかん おひとつ
みかん どう
パクリ
お見事！

謹啓

この度第六瑞寶丸殉難船員船長兼漁勞長大平義親君以下十名の合同慰靈祭に際しましては御丁重なる御香料と數々の御芳志を賜わり誠に辱けなく衷心より深謝申上げます

お蔭を以て諸事万端とゞこおりなく相すみました

當日は取り込みの爲御尊名伺い洩れもある事と存じますのでこゝに紙上をかりて謹んで御厚禮申上げます

昭和三十年三月八日

磐城市栄町四番地
第六瑞寶丸船主
馬上庄治

磐城市栄町五番地
小名濱漁業協同組合長
三代義勝

發電機・モート[illegible]トランスの御用は
名古屋電機工業所へ
平市正月町二四（電二一六一）
捲替修理＝迅速確實

平名物（自家育雛）
若ひな料理
お一人前一五〇円
一羽料理もあり
お食事のデパート
不二屋
平市中央通り 電八八六 一七五〇

立喰
亀寿司
平市田町東銀座 電一六九

カメラの茂木
平和通り
電一〇九二

大黒屋通信NO・5
一九五五年春の
流行服地は
大黒屋平本店の化繊服地から、化繊も年々進歩がみられ、長時間の摩擦や屈曲に耐えることはもとより大きな特性であるが、虫に喰われずバクテリヤやかびに犯されないから水中や土中に長時間置いても劣化が少いことは既存繊維に見られない大きな福音です
タツサーブロード……一八〇円
クレバーネツト……二八〇円
皆様の利益を護る店

一枚のカルテ【15】

立花恵子

五

〃自分の前にすべての男性をひざまづかせたい、という野望を持つている女〃

八千代はそんな女である。

女学校を卒業すると、すぐに上京して洋裁学校に入つた。だが彼女が学校で学んだものは、洋裁よりもむしろ〃どうしたら美しくみせられるか〃という技術であつたらしい。だから卒業後も充分遊び廻るつもりだつたが、両親に再三呼び戻されて、仕方なしに帰郷した、その位だから家へ帰つて来ても、もつぱら毎日遊ぶので忙がしい。この町からバスで一時間程かゝるT市のホールに踊りに行き、ボーイフレンドも出来たが、現在は乗馬に夢中である。近代女性は乗馬位心得ておかなければ、と云う意気ごみだから上達するのも早い訳であつた。彼女は自分の美を意識している。自分の周囲にいるすべての男性を、自分の讃美者としておきたかつた。だから、女性の事に関しては少しぬけている様なこの従兄の基夫が腹にたまりかねた。この基夫も、自分の讃美者として足もとにひざまづかせたかつたのだ。

ミヨシが会釈して出て行くと凍つた室内の空気がいくらか和いだ。

ー何よ、あんな女なんて。春ちやんの受持医を口実に基夫さんと仲好くしようつたつてそうはいかないわ。私がついてるんだもの。だけど基夫さんも情ないなア。あんな冷たい男の出来そこないみたいな人に心を引かれるなんて。そりやあの人だつて一寸キレイだけど。何と云つたつて本場でお化粧の勉強をして来た私にはかなうもんですか。よそものゝくせに、厚かましく基夫さんと交際しようなんて。馬にも乗れないくせに、新時代の女性なんて云われるもんですかー

八千代は、散々心の中で悪口をあびせかけた。ギユツとかみしめたくちびるの端が、かすかにふるえている。

「八千代さん、何だい。今日は早いじやないか」

ボサツとした基夫の言葉に、クルリと八千代はふり返つた。

「アラ、何を云つてるのよ。基夫さんの早御飯を持つて来たんじやないの。お腹すかないなら又持つて帰るわよ」

「何だ、すまんすまん。飯のくいつぱぐれではヒボシになつちまう」

「そんなら、さつさとお上りなさい」

「基夫さん、今、こゝにいらした方、随分おキレイな方だつたわね」

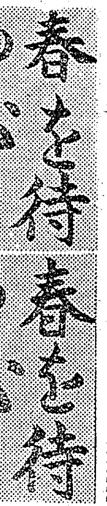
ポカポカとまだ温い弁当を食べているのを横目でみ乍ら、八千代は皮肉の矢をとばすと、ドギマギする基夫に、彼女はくちびるを固くかみしめた。

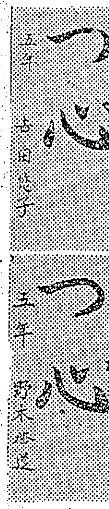
学芸

平二小作品

生花 五年四組 荒儀右衛門

野菜 五年四組 野木啓道


春を待つ心
五年 古田悦子


春を待つ心
五年 野木啓道

養老園を慰問

五の三 鈴木 侑

三月四日、平二小代表十三名がバスに乗つて養老園にむかつた。約十分乗つて養老園についた。ぼくはこれで三回もきているが、一年一年がすつかりかわつているのにはおどろきました。去年は園長さんがいませんでしたが、今年は園長さんもいて、おじいさん、おばあさんたち、ぼくたちをうれしそうにむかえてくれました。それからすぐに順平君のあいさつをしてから中にはいりました。中にはいつてすぐに感じたことは、おばあさんたちがいそがしそうに仕事をしていたことです。園長さんに養老園のいろいろなしくみについて、くわしくお話をお聞きしました。そのお話によると、この養老園の人々は協力しあつてくらしているということです。それにびつくりしたことは、こゝのおじいさん、おばあさんは、毎日六時半までに起きて仕事にとりかゝるということです。それから食事をする時は、みんな食堂のほとけさまを三十分間おがんでから食事をするそうです。だいたいこのぐらいお話を聞いてから六年の志賀さんがおじいさんおばあさんにおみやげをわたしました。それからぼくたちレクリエーションをしてみせました。始めは六年生のダンスをしてみせました。おじいさん、おばあさん、よろこんで見ていましたこのダンスがおわつた時のおじいさん、おばあさんたちのよろこびは、ものすごいものでした。ぼくは、この養老の人たちが、よろこんでいるのをみたら、いつまでもいつまでもやつてみせたくてたまりませんでした。ダンスがおわつたので、ぼくたちは学校の校歌、児童会の歌、少年会の歌をうたつてみせました。そのほかに一人一人でクイズをしました。おじいさん、おばあさんの考えですぐ答えられて、おじいさん、おばあさんたちでも、あたまがすぐれていると思つた。それからいろいろのへやゝ見てまわりました。へやには6号まであり1号から3号まではおばあさん、4号から6号まではおじいさんたちがいます。一つのへやは十二じよう半で、八人の人がいます。それからおふろ場もみましたが、とてもきれいなおふろでした。おふろは月、木よう日だけはいるそうです。それから病室に行きました。園長さんのお話によると、もとにくらべて病人がずつとへつているというので、うれしいことだとおもいました。これで一どうりみおわつて養老園のみなさまとおわかれしました。帰る途中バスの中で、ぼくは養老園のあの年とつた人たちが少しづつでもおこずかいをとるために、今日のような寒い日にもいつしようけんめいたわらをつくつたり、ぞうきんをさしたりしているのが、ほんとうにおきのどくでたまりません。ぼくもこれからは決してむだづかいをせず、おこずかいをためて、きのどくなおじいさん、おばあさんにあげようと思いました。

平市役所前に病院

月末完成、四月に開業

平市十五丁目竹林病院（院長竹林貞吉氏）では平市役所前向いの敷地（五百坪）に昨年九月から病棟を建設中だつたが三月一杯で完成することになり、四月から入院患者を収容することになつた

建坪五十坪（二階建）の看護婦寄宿舎と建坪百二十坪の病棟の二棟でこの病棟には廿五のベツトがある、第二期工事（三百坪）では病室、調理室など設け完全給食とするが着工は何時になるか未定、結核患者は全然収容しない、建物はいずれも木造モルタル塗りの明るい感じを持つた近代的なもの、工事請負は磐城市常磐土建KK（責任者草野直人氏）（写真は新装なつた竹林病院の病棟）

将棋會の成績

平将棋愛楽会将棋会は六日開いたが成績左の通り

▼A組❶伊藤宗治❷鈴木孝長❸太田正善❹鈴木重雄

▼B組❶橋本清❷間期男❸小形清❹南善夫

修學旅行費補助妥結

常磐市

常磐市教育委員会は新年度から小学校六年生の従来の東京旅行費補助五〇〇円を百六十円に削減し、東京行は認めず水戸市としたのに対し各校PTAは反対し市会文教委員会に対し増額を陳情していたが、教育委員会側と種々協議の結果、結局百六十円を二百五十円までに増額、要保護者、貧困家庭の児童に対しては従来通り五百円の補助をすることにして妥結した

磐城分譲住宅

受附を開始

磐城市土木課では三十年度分譲住宅購入希望者を次の要領で受付けている、即ち建築予定は十戸、受付締切十三日まで、敷地は小名浜諏訪神社附近（第一土地区劃整理地内）の百坪以上の團地を調査して市が取得し建設する、分譲は市が建設し土地と一緒に行い金円（未定）の償還は十八カ年賦で清算する

磐崎中で校歌

十三日に披露式

常磐市磐崎中学校では郷土の生んだ詩人草野心平氏に校歌の作詩を依頼中だつたが、この程完成したので来る十三日午前十時から同校講堂で校歌の披露式をひらく、なお作曲は渡辺浦人氏

❶そのかみの、古城のほとり
美しき、高き台地に
そびゆるは、我が学び舎ぞ
ハリ窓に陽は照り映えて
磐中、磐中、われらが母校
おゝ、われらの磐崎中学校

❷藤原の川のみなもと
胸ぬちに、湧くぞあふる
育ぐむは心の泉
眞と響ひたに追いつく
（以下二行同じ）

❸湯の嶽は雲涌くところ
その高き、高嶺を望み
肩あげよ、若き朋から
相ともに文化になわん
（以下二行同じ）

今晩のラジオ 8日

◇NHK 一三六〇KC
六・四五 （福）青少年の時間
七・三〇 話の泉
八・〇〇 「とかくこの世は」
八・三〇 民謡を訪ねて
九・一五 連続劇「源義経」
九・四〇 時の動き
一〇・一五 シャンソン特集 芦野宏
一〇・四〇 芸術よもやま話
◇ラジオ福島 一〇六〇KC
七・三〇 喜多方歌謡大会
八・〇〇 一番寄席
八・三〇 歌の風車
九・〇五 浪曲 木村若衛
九・三五 小唄教室
九・五〇 夜の調べ
一〇・〇五 名作アルバム

今週の映画 8日＝14日

☆平館 夜六時三〇分 怪人二十面相（三部）八ツあん初手柄 銀座令嬢
☆民劇 夜六時三〇分 神州天馬俠完結篇 逆襲大蛇丸 東京の空の下には
☆聚楽館 夜六時三〇分 悪魔をやつつけろ 暴力に挑む男
☆ひかり座 夜七時 海賊バラクーダ アンドロクレスと獅子（八日まで）
☆世界館 夜六時五二分 春秋あばれ獅子 七つの顔の銀次

★本紙映画欄は❶上映時間は映画館と連絡して正しい時間❷映画題名は上映順序に掲載しております

幌馬車隊
人間の愛情をのせ新天地目指して進む幌馬車隊
空前の大スケールを誇る西部劇スペクタクル!!
ジョエル・マックリイ アーリン・ダール クロード・ジ[illegible]マン ジユニア 主演
六つの橋を渡る男
トニイ・カーテイス ジユリア・アダムス ジョージ・ネイダー
9…15日
ひかり座

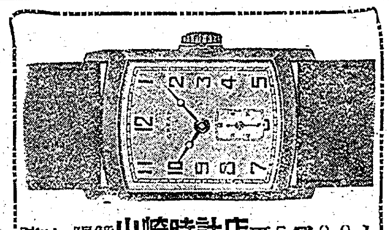
新しいDPは富士

眼科 明雲堂眼科醫院 新妻幸男
平市仲田町 ひかり座裏 電669番

大谷石 平五丁目 井上

地下タビ 運動靴 長靴は 袋屋本店

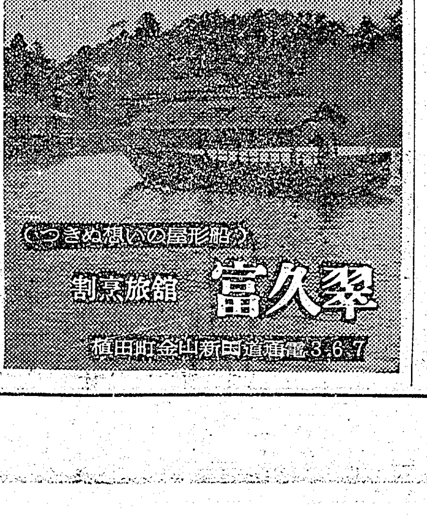
つぼう 開花


時計 眼鏡 山崎時計店 平5 電991

DPはタナカ

産科婦人科
第一（午前） 叶多醫院 平市三丁目電三五五
第二医院（午後） 湯本町駅前 電話四〇一番

信頼出來る商品 それは外観だけでは分りません
㊜会員の店 三十年の経験ある専門店でお選び下さい
岡萬年筆店 平市大町通り 電三九九


都心離れた別天地（サービスカーあり）
（つきぬ想いの屋形船）
割烹旅館 富久翠
植田町金山新国道通電367

耳鼻咽喉科 高柳醫院 高柳博明 平驛前 電一一二

貸事務所 二丁目本町通り二階十二坪 姓名在社⑦

急募 トラック助手 二十才位より身体強健 住込可の者 有免許者も可 委細面談 内郷市小島町電九七五 四倉清一

求下宿 旧平市内、素人家 閑静望 三食付六千円以内 当方薬剤師 平市大工町鉄道診療所内電一一二九 滝

民報案内
▽二段組三行▽一回百円▽お申込みはいわき民報営業部案内広告係（電一二三三専用）又は最寄の支社、支局へ▽前金のこと